

大仙市財務会計システム更新業務

提案書評価基準

令和 7 年 1 2 月

★評価表配点★

評価項目	配点	構成比
① 機能要求評価	40	20.0%
② 非機能要求評価	10	5.0%
③ 価格評価	20	10.0%
④ 特定シナリオデモ評価	50	25.0%
⑤ プレゼンテーション評価	60	30.0%
⑥ 追加提案評価	20	10.0%
合計	200	100.0%

① 機能要求整理表評価表

業務	最高点
全体機能	466
予算編成・管理	948
歳入・歳出・出納管理	1,152
決算管理	170
決算統計	440
契約管理	718
起債管理	338
電子決裁	900
合計	5,132

重要度区分	得点
A	10
B	5
C	3
D	1

対応状況による掛率	
標準対応	×2
カスタマイズ	×1
代替案	×1
非対応	×0

採点	
割合	配点
95%～100%	40
90%～95%	30
85%～90%	20
80%～85%	10
85%未満	0

各業務の各要求項目には重要度による点数が設定されており、重要度区分による得点×対応状況による掛率で機能対応得点を算出する。

例) A評価機能が標準対応⇒10点×2=20点

最高点に対する総得点の率によって採点する。

例) 5132点中4500点獲得 … 87% ⇒ 20点

② 非機能要求表評価表の採点について

採点	
95%～100%	10
90%～95%	8
85%～90%	6
80%～85%	4
85%未満	0

非機能要求表の採点は、提案書に基づき、非機能要求が網羅されているかを確認し、その網羅率によって採点する。

③ 価格評価の採点について

予定限度額に対する割合	配点
100%以上	0
90%～100%	2
80%～90%	5
70%～80%	10
60%～70%	15
60%未満	20

価格評価は予定限度額に対する割合で採点する。なお、予定限度額以内であっても、仕様に即した価格でない場合は失格となる。

④ 特定シナリオデモ評価の採点について

採点	
95%以上	50
90%以上～95%未満	40
80%以上～90%未満	30
65%以上～80%未満	20
50%以上～65%未満	10
50%未満	0

提案者から提出されたシナリオデモ動画を職員に公開し、アンケートをとる。最高得点を【1設問あたり5段階評価(5点)×5設問×アンケート回答人数】とし、何%の得点を獲得したかで提案者の採点とする

アンケート項目	評価の基準	ポイント
1. 操作手順のわかりやすさ(直感的に理解できるか)	動画を通じて、操作画面の構成やナビゲーションが直感的であり、マニュアルなしでも容易に理解できる。	5～1
2. 伝票起票及び電子決裁ルートへの回送の簡便さ	伝票起票の入力項目が効率的であり、決裁ルートの設定から回送まで迅速に行える。	5～1
3. 決裁処理の簡便さ	決裁者が起案内容、添付資料(請求書)を確認し、承認処理を少ないステップで実行できる。	5～1
4. 予算要求入力手順の簡便さ	予算要求入力手順が分かりやすく、入力間違いが起きにくい画面である。	5～1
5. 業務の効率化に資するか	デモされた一連の流れが職員の負担を軽減し、業務効率を明確に向上させる。	5～1
計		25～5

⑤ プレゼンテーションの採点について

評価項目	評価の観点	配点
提案の総合的妥当性	本システム導入の背景や目的を正しく理解しており、具体的な改善策・効果まで明示しているか。	5～0
システムコンセプトの明確性	システムの全体像・方向性を図や文章により明示しており、分かりやすいか。	5～0
運用継続性(信頼性)	長期間(数年単位)にわたる稼働実績があり、障害発生率が極めて低く、レポート等により安定稼働が証明されているか。	5～0
情報セキュリティ対策	情報セキュリティ対策としてアクセス権限管理、ログ管理、暗号化、バックアップ、監査等の機能を有しているか。	5～0
職員利用の容易性	PCスキルに依存せず、初めてシステムを操作する場合でも説明不要で直観的な操作が可能な設計か。	10～0
業務効率化効果	作業負担軽減を意識しており、作業ステップ削減、自動化、入力支援などの効果を具体例・数値で示しているか。	10～0
ヘルプ・ナビゲーション機能	システム内でヘルプ、マニュアルリンク等が整備されており、さらに職員側でヘルプ等の記載内容を編集できる機能があるなど活用が可能な内容となっているか	5～0
進行管理能力	進捗・課題管理、人員体制が適切に計画されているか(詳細なスケジュール、課題管理表、報告フローが示され、リスク対応も具体的か。プロジェクトマネジメントに関する資格を有する人員が担当するか)	5～0
テスト運用・研修計画	本稼働前のテストについて、シナリオ・研修計画が具体的で、職員が実施可能な内容まで示されている。	5～0
保守体制の安定性	サポート窓口、対応時間、障害発生時の体制が明確であり、体制図が提示されているか。	5～0
最高点		60

プレゼンテーションは二次審査にて審査員が評価する。
 審査員の評価の平均値(小数点以下切り捨て)を得点とする。
 資料に記載がない場合は評価なし(0点)とする。

⑥追加提案評価基準

追加提案 ※追加提案は何件出しても良く、1件当たりの最高点は5点とし、評価点の上限は20点とする。	追加提案①	5～0
	追加提案②	5～0
	追加提案③	5～0
	追加提案④	5～0
計(上限20点とする)		20

追加提案は二次審査にて審査員が評価する。
 審査員の評価の平均値(小数点以下切り捨て)を得点とする。
 予算内で実現不可能な場合や追加提案自体を不要と判断した場合は評価なし(0点)とする。